

## 平成28年度 新潟市精神保健福祉審議会 会議概要

開催日時	平成29年3月29日（水） 午後3時～午後5時
会 場	白山会館 1階「芙蓉の間」
出席委員	五十嵐委員，池田委員，後藤委員，坂井委員，染矢委員，高橋委員，坪谷委員，中村（協）委員，中村（勝）委員，樋口委員，本田委員，三浦委員，横山委員，若穂岡委員，和知委員 (出席15名，欠席0名)
事務局	保健衛生部長，保健所長，こころの健康センター所長（こころの健康推進担当課長兼務），こころの健康センター所長補佐（精神保健福祉室長兼務），こころの健康センターいのちの支援室長，障がい福祉課長
傍聴者	1名
内 容	<p><b>【議事】</b></p> <p>(1) 会長・副会長選出 ○会長に染矢委員，副会長に後藤委員が選出。</p> <p>(2) 精神保健福祉施策の概要について ○事務局より精神保健福祉相談・訪問等件数，普及啓発・教育研修実績，依存症対策，新潟市精神医療審査会審査実績，判定実績（精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療），新潟市ひきこもり相談支援センター実績，精神科救急医療対策事業，措置入院対応件数，受診勧奨対応件数，精神障がい者地域移行・地域定着支援事業，精神保健福祉関係事業歳出予算について説明を行った。</p> <p>○委員からの意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者保健福祉手帳の判定件数について，新潟市で3倍位になっているが何か理由はあるか。 ⇒確定的なことは言えないが，気分障害圏，発達障害圏，並びにアルツハイマー等の認知症に関する申請が非常に増えている。また，最近では障害者雇用が進んでいる。手帳がなくてもいい場合もあるが，原則手帳があったほうがいいので，手帳を申請するとメリットも生まれる。そういった疾患の多様化と障害者雇用等のサービスの充実が大きな要因ではないかと考えている。</li> <li>・依存症相談について，アルコール以外の対応も図っていくとのことだが，それは物質依存の中でのアルコール以外という意味なのか，それとも行為依存や人間関係依存も含めた対応なのか。 ⇒アルコール，薬物，それとギャンブルの相談に対して，まずは対応し</li> </ul>

ていきたい。一般の精神保健福祉相談の中でも対応し、実績等を見て依存症の範囲などは広げていきたい。

- ・措置入院と受診勧奨の対応件数について、居住地域でみると中央区が多い。単身者が多い等の何か理由はあるか。  
⇒中央区の人口が一番多いからと考えていたが、意見を参考に今後考えていく。

### (3) 自殺総合対策について

○事務局より、新潟市自殺者数・自殺死亡率等、電話相談事業実績、くらしとこころの総合相談会実績、こころといのちの寄り添い支援事業（自殺未遂者再企図防止事業）実績、平成29年度新潟市自殺総合対策事業概要（案）について説明を行った。

#### ○委員からの意見・質問

- ・こころといのちの寄り添い支援事業（自殺未遂者再企図防止事業）実績について、福祉サービスへの利用とは具体的にどのようなサービスが多いか。  
⇒生活保護の受給が一番多い。そのほか障がい者基幹相談支援センターに繋いだり、地域包括支援センター、就労継続支援A型、B型や地域活動支援センターなどの協力を得ている。
- ・こころといのちの寄り添い支援事業（自殺未遂者再企図防止事業）について、支援を受ける要件に自殺未遂をされた方とご家族等の希望により、自由意志に任されているところがあるので、もしできれば条例等である程度の義務化などができないものか検討して欲しい。
- ・医療福祉関係者向けの自殺対策研修会はあるが、労働側に関する相談員向けにも実施して欲しい。
- ・会議などへ当事者の参加を増やして行くことも、自殺予防に繋がると思う。  
⇒当事者の方の視点は非常に大事だと思う。いろいろな方に会議や市の事業にも参加していただければというふうに考えている。

(4) 精神保健福祉法の改正案について

○事務局より、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律案の概要について説明を行った。

○委員意見・質問なし。